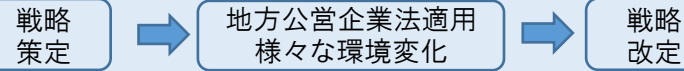


青森市下水道事業経営戦略【概要版】

1 趣旨



- 平成29年2月に「青森市下水道事業経営戦略(計画期間:平成28年度から令和7年度まで)」を策定し、経営状況の分析や将来的な投資、財源の試算を行いました。
- その後、地方公営企業法を一部適用、全部適用と段階的に適用し、会計方式が「官公庁会計」から「公営企業会計」への変更により財政状況・経営成績の明確化を図ったことや近年の下水道事業を取り巻く環境変化などを踏まえ、平成29年2月に策定した戦略を改定するものです。
- 計画期間は、令和5年度から令和24年度までの20年間とします。

2 下水道事業の現状と将来予測

(1) 現在の経営状況

経営状況は経常収支が黒字となっているものの、過去の設備投資に伴う債務が大きいものとなっています。また、老朽化の進行度合いと改築・更新の投資額にギャップがあります。

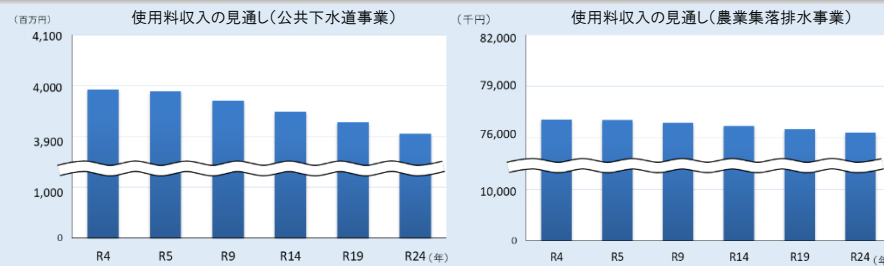
公共下水道事業の経営指標(令和2年度)		青森市	類似団体平均
経営の健全性	経常収支比率	104.49%	106.55%
経営の効率性	汚水処理原価	172.47円	141.24円
債務の重さ	企業債残高対事業規模比率	1,259.63%	730.52%
管渠老朽化への対策状況	管渠改善率	0.11%	0.19%
管渠老朽化の状況	管渠老朽化率	11.3%	5.64%
水洗化状況	水洗化率	89.1%	94.56%

農業集落排水事業の経営指標(令和2年度)		青森市	類似団体平均
経営の健全性	経常収支比率	113.16%	106.37%
経営の効率性	汚水処理原価	224円	274.99円
債務の重さ	企業債残高対事業規模比率	1,277.86%	867.83%
水洗化状況	水洗化率	85.62%	84.7%

※農業集落排水事業の管渠老朽化に係る数値は、耐用年数未到来のため省略しています。

(2) 使用料収入の動向

行政人口の減少に伴い、水洗化人口は減少していきますが、有収水量は世帯構成や家庭用・事業用の別などといった使用環境や新規接続によっても変動することから、使用料収入は緩やかに減少する傾向で推移する見込みです。



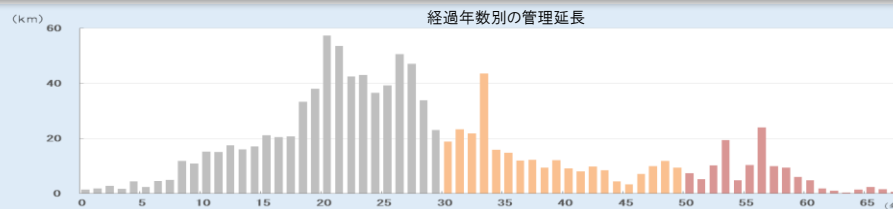
(3) 発行済企業債の償還予定

企業債償還は、公共下水道事業で令和6年度にピークを迎え、その後は減少を続け、令和14年度にはピーク時の約2分の1の額となる見込みです。



(4) 改築・更新需要の増加

既存の管路施設やポンプ場・処理場施設の老朽化に伴い、今後、改築更新や修繕等の費用が大幅に増加していく見込みです。



3 下水道事業の課題と経営方針

＜本市の下水道事業における解決すべき課題＞

- ・中長期にわたる安定的な財源の確保
- ・更なるコスト管理及び経費節減
- ・限りある財源の中での着実な設備投資
- ・老朽化施設の長寿命化対策
- ・衛生的な生活環境の確保



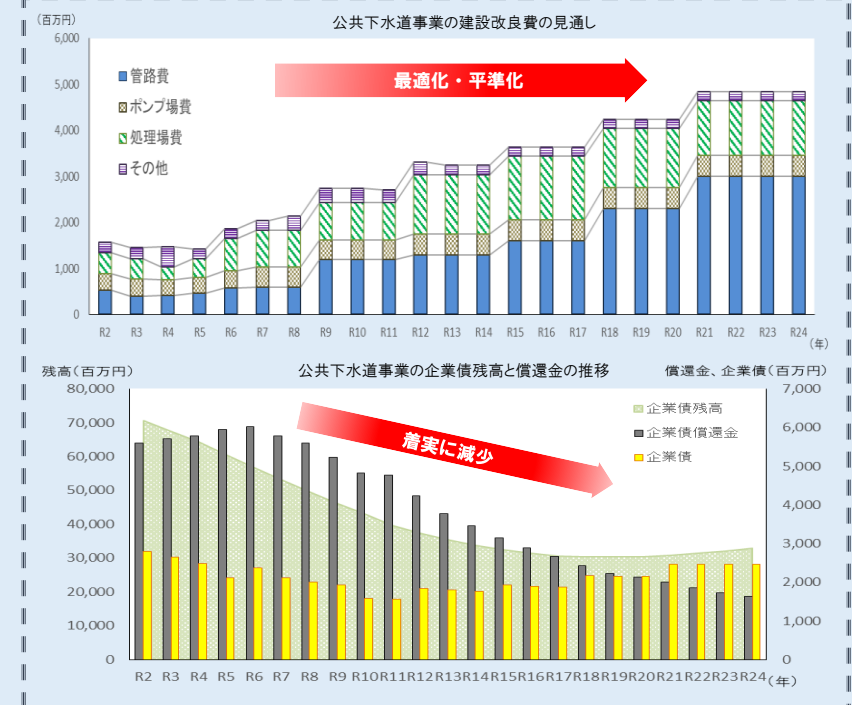
＜ 経営方針 ＞
将来を見据えた下水道事業経営の健全化
下水道整備の最適化・平準化
下水道施設の持続可能な維持管理

4 今後の投資・財政計画

(1) 公共下水道事業

投資試算・・・約684億円

未普及解消整備(管渠新設)を継続して実施していくとともに、資産の老朽化に伴う大量更新時期の到来をストックマネジメントにより長寿命化することで、投資の最適化・平準化を図ります。



財源試算・・・約684億円

企業債償還がピークを迎える戦略前期に、経費の削減に努め、一定の繰入金、国・県補助金の確保、世代間負担の公平性を保つための企業債の発行を行うこととし、現行の使用料水準のもとで財源を確保していきます。

(2) 農業集落排水事業

投資試算・・・約9.1億円

財源試算・・・約9.1億円

牛館地区と諏訪沢地区の公共下水道への接続・汚水処理の共同化を見込んでいます。また、マンホールポンプ場における老朽化対策を進めます。

(3) 戦略における目標値

経営方針に基づき、継続的に事業を実施することでの進捗や達成度合いを把握するために、戦略期間内における目標値を設定します。

【公共下水道事業】

投資についての目標となる指標	令和3年度実績値	令和24年度目標値
下水道普及率	81.38%	85.86%
管渠改善率(累計)	0.06%	10.45%
設備改善率(ポンプ場)(累計)	3.39%	57.58%
設備改善率(処理場)(累計)	0.9%	53.27%

財源についての目標となる指標	令和3年度実績値	令和24年度目標値
経常収支比率	103.9%	100%以上
経費回収率	97.36%	100%
企業債残高対事業規模比率	1,254.73%	671.42%
資金不足比率(地方財政法)	4%	0%

【農業集落排水事業】

投資についての目標となる指標	令和3年度実績値	令和24年度目標値
設備改善率 (マンホールポンプ設備改善数)	0% (0箇所)	74.5% (70箇所)

財源についての目標となる指標	令和3年度実績値	令和24年度目標値
経常収支比率	115.73%	100%以上
経費回収率	78.96%	100%
企業債残高対事業規模比率	1,240.43%	143.6%
資金不足比率(地方財政法)	0%	0%

5 今後の検討予定

- ・八重田浄化センター、新田浄化センター、蜷貝ポンプ場の改築等に係る検討を進めていきます。
- ・農業集落排水処理区域について、汚水処理の効率化に向けて公共下水道への接続の可能性を検討していきます。

6 経営戦略の事後検証

経営戦略の取組の進捗状況および達成状況について確認・検証として、毎年度、客観的評価・分析を行うとともに、PDCAサイクルを活用し、新たな課題や周辺環境の変化を反映しながら、5年以内に定期的な見直しを行うことで継続的に改善を図ります。

